

平成28年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

②課題:加工適性に優れるサラダ等用途向け赤いんげんまめの開発強化および機械収穫適性の評価

代表者:北海道立総合研究機構 十勝農業試験場 研究主任 齋藤優介

目的

優れた加工適性を有するサラダ等用途向け赤いんげんまめの有望系統を早期育成するとともに、既にサラダ等用途向け赤いんげんまめとして北海道の優良品種に認定されている「十育S3号」のコンバイン収穫適性を評価する。

成果

①サラダ等用途赤いんげんまめの加工適性の評価と選抜

・サラダ等用途赤いんげんまめの加工適性の評価を実施した結果、F₆世代系統から2系統、十系系統から2系統を選抜し、次年度も引き続き試験を行うこととした。

②サラダ等用途向け赤いんげんまめのコンバイン収穫適性の評価

・「十育S3号」のコンバイン収穫による損失率および子実損傷率は、「大正金時」と比較して大きな違いがなく(下表)、その機械収穫適性は同等と推定された。

コンバイン収穫における作物条件および作業精度(損失率・損傷粒率)

系統名 または 品種名	成熟 期*1 (月日)	倒伏 程度*2 (0-4)	草丈 (cm)	子実重 (kg/10a)	百粒 重 (g)	屑粒 率 (%)	培土 高さ (cm)	作業 速度 (m/s)	刈 高 (cm)	損失率(%)			損傷 粒率 (%)
										刈取 部	脱穀・ 選別部	総 損失	
十育S3号	8.31	4.0	42	200	45.0	92.5	13.0	0.61	0.7	3.5	1.0	4.6	4.4
								0.80	1.8	5.1	0.4	5.5	4.8
大正金時	8.31	4.0	44	200	63.8	98.4	12.0	0.59	1.0	9.1	11.0	20.1	4.4
								0.81	3.1	7.7	11.7	19.4	5.1

注1) 播種日は5月29日。

注2) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。無 0、微 0.5、少 1、中 2、多 3、甚 4。